

クマを寄せつけないために



ツキノワグマの特徴

- 体長 100~160cm ●体重 50~130kg
- ・胸に白い月の輪のマーク
- ・聴力・嗅覚が非常に良い
- ・泳ぎ、木登りが得意。短時間なら時速50km程度で走る
- ・主な活動時間は、日の出・日没前後
- ・行動範囲は通常のオスの場合は40km²と言われている
※食べ物の豊凶により異なる
- 食べ物 ブナの実、どんぐり類、木の実、山菜、昆虫、ハチミツ、果物など



近年、全国各地でクマの目撃情報や人身被害が相次いでいます。里山の環境変化や餌不足、人の生活圏拡大により、クマは山奥だけの存在ではなくなりており、日常生活のなかでクマへの注意や対策を行う必要があります。万が一遭遇した場合などに備え、クマの生態や対策方法などの正しい知識と行動を身につけておくことが、被害を防ぐ第二歩となります。

問 二ホンジカ対策室(内線3560)

冬眠明け～春 クマに注意すべき場所

戸締りされていない
空き家・倉庫



人里に出没したクマが侵入したり、保管している米や飼料などを荒らす事案が全国で発生していますので、戸締りを行いましょう。

生ごみなどが
放置されている場所



生ごみなどが入ったごみ袋を収集前の夜間に出すと荒らされたり、クマとの遭遇により人的被害が発生するおそれもあります。生ごみなどの可燃ごみは、収集日当日の午前5時から午前8時30分までの間に出すようにしましょう。

山菜採り時



春の時期の山菜はクマの主要な食餌です。毎年、山菜採り時にクマと遭遇し、事故に遭うケースが全国で多発しています。入山時は、複数人での行動、クマ鈴の着用などを徹底してください。

朝夕の
農作業・散歩など



朝夕はクマが最も活発に行動する時間帯です。朝夕の入山や農作業には十分注意しましょう。

クマはなぜ人里に現れるのか



クマが人里に下りてくる背景には、ドングリなどの不作や放置された果樹、家庭菜園、生ごみなど「人の暮らしから発生する餌」の存在があります。学習能力の高いクマは、一度安全に餌を得られる場所を覚えると、繰り返し現れる傾向があります。



クマの被害に遭わないために、私たちができること

クマに出会わないために

- ①鈴やラジオで音を鳴らす、大きな声でしゃべりながら歩く
- ②できるだけ複数人で行動する
- ③朝夕や天気が悪く薄暗い日は特に注意する
- ④生ごみなどは放置せず持ち帰る



クマに会ってしまったたら

- ①クマが遠くにいる場合は、そっと立ち去る
- ②近い場合、騒がず、クマに背中を見せずにゆっくりと後退する
- ③近くに親グマがいるため、子グマに近づかない



自分でできるクマ対策

- ①クマは茂みに隠れながら移動するため、家の周りの刈り払いをし、見通しをよくする
- ②クマが登れないように果樹の幹にトタンを巻き付け、低い枝は刈り払う



クマが攻撃してきたら

- ①頭や首を守るために、腹ばいになり、両手で首の後ろを守りましょう
- ②クマ撃退スプレーを使用する



クマに遭遇したらどうする?

落ち着いて離れましょう

背を向けて走って逃げたり、音を立てたりすると、クマを刺激する可能性があります。

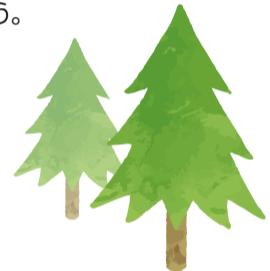
クマに背を向けず、落ち着いてゆっくり離れてください。

目撃情報を通報しましょう

クマから離れ、安全な場所に移動したら、時間、場所、クマの大きさなどの目撃情報をニホンジカ対策室もしくは110番に通報しましょう。

市内で目撲される野生動物・クマの痕跡

市内ではカモシカやイノシシなどの野生動物も目撲され、クマと見間違うこともあります。見かけた際には近寄らないようにしましょう。



羽黒町2丁目で撮影されたカモシカ



イノシシ (提供:入間市)



アナグマ (提供:福井市)



爪痕



クマ剥ぎ



クマ棚